

共用品推進機構だより 2016年02月12日(41)

## 目次

### (189) 共用品推進機構関連記事

▽『3.11を心に刻んで』(岩波書店ウェブサイト)

▽『第2回 ニーズ&アイデア フォーラム』開催のお知らせ

### (190) 製品関連記事

▽「小麦粉『日清クッキングフラワー』日経優秀製品賞MJ最優秀賞  
／日清フーズ」

### (191) サービス関連記事

▽「軽トラで移動販売 スーパーの丸久」

### (192) 行政関連記事

▽「高齢者家族の負担軽減策 ヘルパー緊急訪問など／群馬県 高崎市」

### (193) その他、各種関連記事

▽「外国人など会話補助／三菱電機」

### (194) 新刊紹介

▽『バリアフリー住宅読本 必携実例でわかる福祉住環境 改訂新版』

▽『発達障害に気づかない母親たち』

▽『発達障害の改善と予防 家庭ですべきこと、してはいけないこと』

▽『見えない私の生活術』

---

### (189) 共用品推進機構関連記事

▼「『3.11 を心に刻んで』(岩波書店ウェブサイト)」

岩波書店では、毎月11日に「3.11 を心に刻んで」というタイトルで、毎回3人の人が書いた文章をウェブサイトに掲載しています。  
2月は、共用品推進機構の星川安之が短文を寄稿しています。  
どうぞご覧ください。

<http://www.iwanami.co.jp/311/>

<http://www.iwanami.co.jp/311/DOCs/1602c.html>

▼「『第2回 ニーズ&アイデア フォーラム』開催のお知らせ」

医療、福祉、デザイン、工学系の学生混成のプロジェクトチームによる自立を支援する機器へのアイデアを発表、展示致します。  
また、ゲストコメンテーターとして共用品推進機構の星川安之がアドバイスやコメントを行います。

日時：2016年3月6日(日) 10:00~16:30 (9:30開場)

会場：東京電機大学 東京千住キャンパス 100周年ホール

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

参加費：無料

特別講演「スポーツ用義肢の世界」

- ・ 臼井 二美男氏 (公財) 鉄道弘済会義肢装具サポートセンター、ヘルスエンジェルス代表

ゲストコメンテーター

- ・ 東 祐二氏 厚生労働省老健局福祉用具・住宅改修指導官
- ・ 星川 安之氏 (公財) 共用品推進機構事務局長

連絡・問合せ先 NIF@rehab.go.jp

TEL : 04-2995-3100(7280) 担当 小野 栄一

▼「小麦粉『日清クッキングフラワー』日経優秀製品賞 MJ 最優秀賞  
／日清フーズ」

容器を工夫、使いやすくどうしたら小麦粉販売を活性化できるか。それが開発のきっかけだった。

太さや口の形、粉が出る穴の大きさなど 30 種類以上の容器を検討。数種類に絞り、12～13 年に消費者約 50 人に料理してもらった実験を 2 回した。実験会場でホワイトソースなどを作ってもらい、ついたてを隔てて観察。使いやすい容器を絞り込んだ。14 年春ごろ、フタが 2 種類付き、台所に置きやすいように丸みを帯びた形状に落ち着いた。

小麦粉の粒にもこだわった。通常の粉は細かすぎて穴に詰まる。粒の大きさを既製品の 3 倍にして隙間を作り、穴から出やすいようにした。

(日経 MJ 2 月 8 日 15 面より抜粋)

---

(191) サービス関連記事

▼「軽トラで移動販売 スーパーの丸久」

山口県を中心にスーパーを展開する丸久は軽トラックに商品を積み込み、消費者の居住地を訪れて販売する移動販売のサービスを始めた。自動車などを持たず買い物に出かけられない高齢者ら「買い物弱者」のニーズに対応する。まず、本社を置く同県防府市でサービスを開始、その後、県内のほかの地域にも広げる計画だ。

(日経 MJ 2 月 5 日 9 面より抜粋)

---

(192) 行政関連記事

▼「高齢者家族の負担軽減策 ヘルパー緊急訪問など／群馬県 高崎市」

群馬県高崎市が、介護や見守りが必要な高齢者を抱える家族の負担軽減に向けた独自政策を相次いで打ち出している。家族の介護が理由になった離職を防ぐほか、福祉を充実させることで企業誘致や移住者の増加につなげる狙

いもある。

ヘルパーの緊急訪問や宿泊サービスを提供する「介護 SOS サービス」を4月にもスタートする。事前の登録は必要なく、介護認定の有無も問わない。専用ダイヤルを設けて24時間対応する。

急な残業や出張で親の介護ができなくなったり、「老老介護」の世帯でベッドから落ちた家族を助けられなかったりする場合を念頭に置いている。原則として訪問は月5回、宿泊は3回まで。定期的なケアが必要な場合は介護保険サービスの利用を促す。

(日経MJ 2月12日11面より抜粋)

---

### (193) その他、各種関連記事

#### ▼「外国人など会話補助／三菱電機」

三菱電機は9日、タブレット（多機能携帯端末）やスマートフォン（スマホ）の画面上で、指でなぞった先に自分の話した声を文字化する技術を開発したと発表した。地図や絵の上に会話を次々に書き込むことで、外国人や聴覚障害者とのコミュニケーションを円滑に進められる。

2016年度中に実証実験し、翻訳機能と組み合わせたアプリ（応用ソフト）などとしての事業化を目指す。「しゃべり描きUI（ユーザーインターフェース）」と呼ぶ音声認識表示の仕組みを考案した。

タブレットやスマホの画面を長押しして、声を発しながら指先を直線や曲線に動かすと、声を文字化し、指の軌跡に表示する仕組みだ。

翻訳機能を組み合わせれば、原文と訳文をセットで示すこともできる。線や円も描けるため、地図に道順を示す際などに役立てられる。

(日経産業新聞 2月10日9面より抜粋)

---

### (194) 新刊紹介

#### ▼『バリアフリー住宅読本 必携実例でわかる福祉住環境 改訂新版』

バリアフリー住宅に改修する上での考え方と具体的方法を紹介。人間工学的

視点から身体のメカニズムを再考し、生活空間別に安全で安心な住まいへの配慮を提案する。事例 20 件を追加した改訂新版。

著：バリアフリーデザイン研究会 高齢者住環境研究所

発行：三和書籍

本体価格：2500 円（税別）

ISBN：978-4-86251-190-4

#### ▼『発達障害に気づかない母親たち』

激情しやすい、子どもをどう愛していいかわからない、片づけられない…。自分自身の発達障害に気づかず、生きづらいつ感じている母親に向けて、もっとラクに、幸せに生きるためのヒントを示す。

著：星野仁彦（ほしの・よしひこ）

発行：PHP エディターズ・グループ

本体価格：1200 円（税別）

ISBN：978-4-569-82779-7

#### ▼『発達障害の改善と予防 家庭ですべきこと、してはいけないこと』

発達障害は改善も予防もできる。診断名のついた 200 名以上の発達障害児の脳機能を検査し、改善法を授け、結果を出してきた脳科学者が、家庭で日的にできる発達障害の科学的な改善法、予防法を紹介する。

著：澤口俊之（さわぐち・としゆき）

発行：小学館

本体価格：1400 円（税別）

ISBN：978-4-09-310841-6

#### ▼『見えない私の生活術』

視覚障害のある人が何を感じ、どう生活しているか。視覚障害のある著者が綴った「見えない世界」をちょっと身近にする暮らしのエピソードと、「外出のしかた」「読書環境の変化」等に関する夫からの質問に答える対話を収録。

著：新納季温子（にいろ・きおこ）

発行：クリエイツかもがわ

本体価格：1500 円（税別）

(編集後記)

金峰雄さんが作・演出をした劇を、学生の頃、何度も見に行った。「戦争で死ねなかったお父さんのために」、「ヒモの話」、「出発」、特に「熱海殺人事件」は毎年、繰り返し見に行った。けれど、他の劇と違い、彼のどの作品にも最後まで観客に見破られないような仕掛けがあった。

「この仕掛けを見つけるられるほど、おまえはちゃんと、ものごとを考えているか?!」と、問いただされている気持ちになった。

彼がペンネームにもその仕掛けをしのばせていたことを、最近になって知った。それは、ひらがなの「い」の字。公平な社会が「いつか」くることを心の底から望んでいた。

彼のペンネームは…「(い) つか、こうへい (公平)」。 (星川 安之)

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>